

# 農協だより

平成28年10月発行



## 第21回どんとこいむら祭り開催

10月16日(日)『第21回どんとこいむら祭り』が開催されました。今年は幕別町と合併して10年目の特別なイベントとなりました。当日は秋晴れの中、家族連れなど近隣からも多くの行楽客が会場を訪れ、深まる秋の休日を楽しんでいました。  
(写真：恒例の餅まきの様子)

## 主な内容

- ★第9回理事会…………… P 2
- ★生乳生産状況表…………… P 3
- ★第21回どんとこいむら祭り開催…………… P 4～5
- ★十勝農業改良普及センター技術情報  
「もっと食べる可能性を追求する視点」…………… P 6
- ★J A 青年部活動報告 学習会開催…………… P 7
- ★幕別町農村ホームステイ実施される…………… P 7

### 第九回 理事会

開催日 平成二十八年十月二十五日



#### 報告事項

- ・農作物生産動向および生育状況並びに生乳生産状況について
- ・平成二十八年台風による被災農林漁業者への支援対策について（農水省資料）
- ・個人事業主の大型投資計画について（担い手事業）
- ・特定組合員の9月末組合員勘定実績について
- ・(株)グリーンパートナー精算手続に伴う影響について

- ・平成二十八年「農業災害」に伴う資金対応等について
- ・農地の復旧並びに災害復旧事業対策の実施と負担軽減に関する要請について
- ・組合員異動報告について
- ・コンプライアンス事故報告について
- ・JA北海道大会実践フォーラムの開催について

#### 付議事項

- ※平成二十八年度 仮決算及び期末見込みについて  
原案通り承認されました。
- ※資金借入希望者の取扱い承認について（利益相反取引）  
1件の融資について承認されました。

#### 協議事項

- ・固定資産の処分について



勤労感謝の日

#### 当面のスケジュール(予定)

生産者団体行事含む

#### 《11月》

- 26日 農事組合長会議
- 29日 乳牛市場
- 30日～1日 営農懇談会

#### 《12月》

- 1日 育成市場
- 3日 枝肉市場
- 7日～16日 組勘見通協議
- 10日 枝肉市場
- 13日 肉牛市場
- 13日～14日 巡回ドック
- 14日～16日 第3四半期監事監査
- 20日 理事会（予定）
- 21日 乳牛市場
- 30日 業務納め



「必ずチェック最低賃金！使用者も、労働者も」

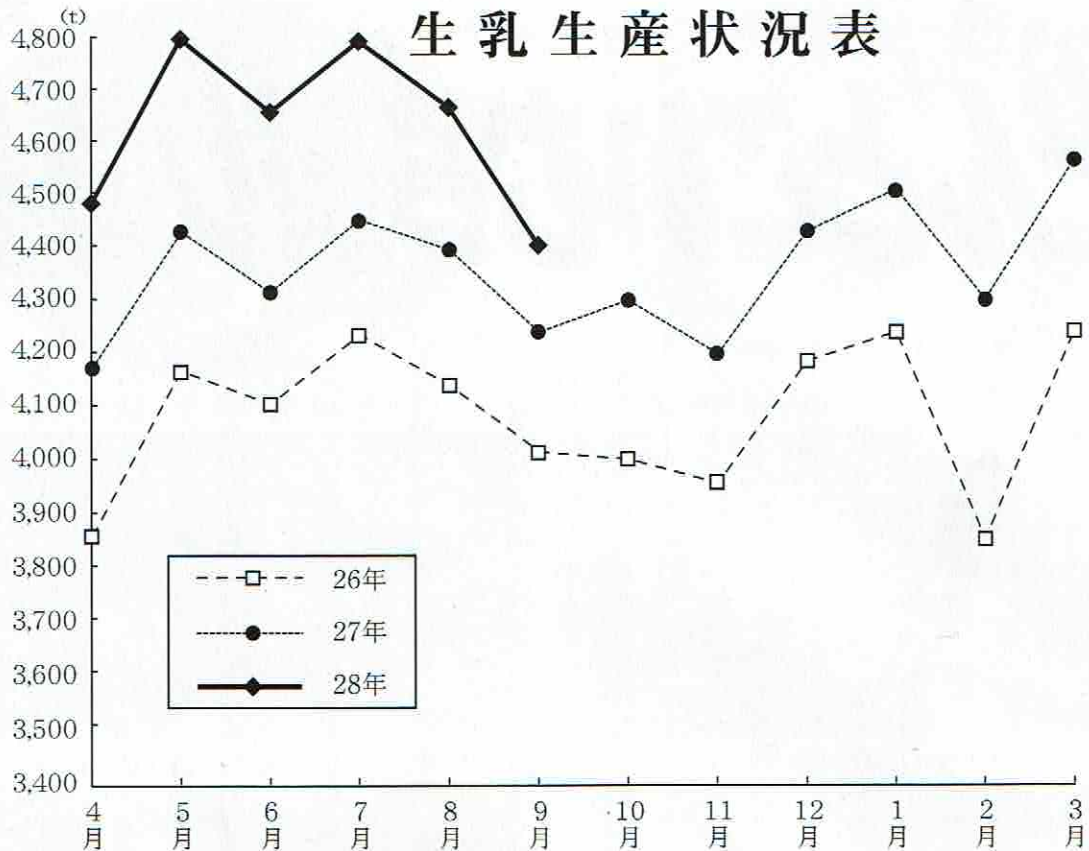
## 北海道最低賃金

北海道内で事業を営む使用者及びその事業場で働くすべての労働者（臨時、パートタイマー、アルバイト等を含む）に適用される北海道最低賃金が次のとおり改定されました。

最低賃金額 時間額 **786円**

効力発生年月日 平成**28年10月1日**

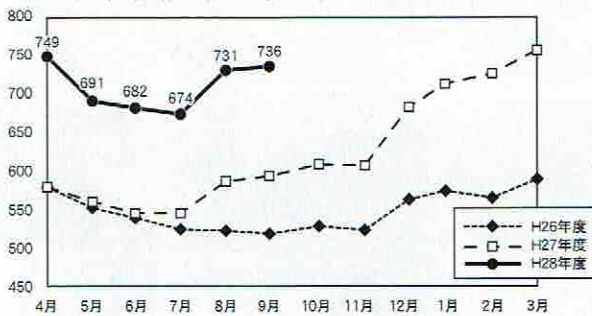
厚生労働省 北海道労働局 労働基準監督署（支署）



## ホクレン十勝家畜市場だより

### 〔乳 牛〕

乳牛市場（初妊牛）平均価格の推移



- 売買頭数：716頭（成立85.7%）
- 平均価格(税込)：736千円（先月比5↑、前年比141↑）
- ～相場予想～

先月の平均価格は、府県、道内ともに購買意欲が堅調であったため、強含みで推移しました。

今月も購買意欲が高く、平均価格は強含みで推移すると考えられます。

### 〔黒毛和種・F1〕

～結果速報～

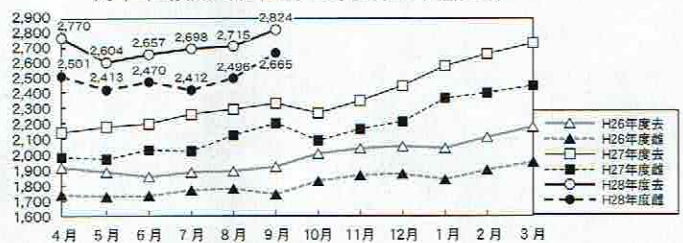
#### ○売買頭数

- 黒毛和種去勢：789頭（成立97.6%）
- 乳用交雑種去勢：1,152頭（成立97.7%）
- 黒毛和種雌：574頭（成立98.6%）
- 乳用交雑種雌：1,479頭（成立96.5%）

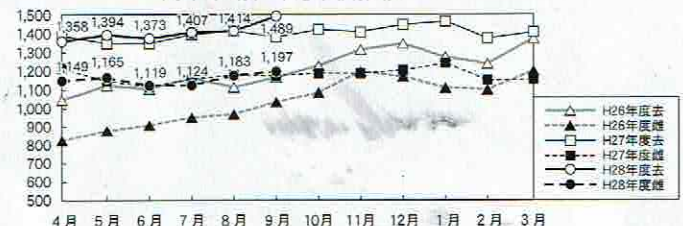
#### ○kg単価

- 黒毛和種去勢：2,824円（先月比109↑）
- 乳用交雑種去勢：1,489円（先月比75↑）
- 黒毛和種雌：2,665円（先月比169↑）
- 乳用交雑種雌：1,197円（先月比14↑）

肉牛市場(黒毛和種251-300kg)kg単価推移



肉牛市場(F1)kg単価推移



# 第21回 どんとこいむら祭り開催

十月十六日(日)に道の駅忠類を会場に「第二十一回どんとこいむら祭り」が開催されました。今年は幕別町と合併して一〇年を迎えた節目の年！御祝いムードが漂ったイベントとなりました。

お祭りに先立ち「ふれあいセンター福寿多目的ホール」にて収穫感謝祭を執り行い、神主の祝詞奏上後、参拝者全員で今年の収穫に感謝の玉串を奉奠しました。

会場では午前十時に飯田幕別町長の挨拶の後ナウマン太鼓保存会の演奏を皮切りに忠類の特産物の食用百合根や馬鈴薯、乳製品の販売、農協職員による、フライドポテト、生ビール等の他J A青年部のカレーの販売が開始されました。店先では販売開始早々から長蛇の列が出来ました。

毎年大好評の忠類和牛の焼き肉など午前中に完売するブースもあり大盛況でした。

ステージでは藤川なお美さんによる、ものまね歌謡ショー、次いで十勝・士幌出身の戸川よし乃さんの歌謡ショーが行われ、新曲『十勝の春』の他、ヒット曲『冬のすずめ』などを熱唱、集まったお客様も一緒に口ずさみ大いに盛り上がりました。

また、会場では毎年恒例となった抽選券でお楽しみ抽選会が行われ、豪華景品がプレゼントされました。

最後には毎年恒例の餅まきが行われ本年度のどんとこいむら祭りも盛会のうちに終了致しました。





藤川なお美さんによるものまね歌謡ショー



新曲を披露する 戸川よし乃さん



恒例の餅まき



大人気のお楽しみ抽選会



忠類和牛焼き肉販売



忠類特産ゆり根販売



乳製品販売



J A 職員会



J A 青年部によるカレー販売



いもだんご・おしるこ販売 (楽能会)

●十勝農業改良普及センター十勝南部支所●

# もつと食べる可能性を追求する視点

今年の1番草を使い始めていると思います。この夏は天候不順で、収穫作業が例年に比べ大幅に遅れました。

刈り遅れ牧草はセインが多く、エネルギーや蛋白など栄養価の割合は低くなります。これは「低栄養で、しかもたくさん食べられないエサ」ということです。

現在の乳牛は、改良が進んで泌乳能力が高く、このような粗飼料を利用する場合は、濃厚飼料を限界近くまで給与することも多いでしょう。

そこで、粗飼料分析して飼料設計をしっかりとしても、確実に食い込めなければ、牛の健康を損ないます。粗飼料品質が採食量を左右するのは避けられませんが、同じ品質のエサでも、給与面から乾物摂取量を向上させる余地があります。

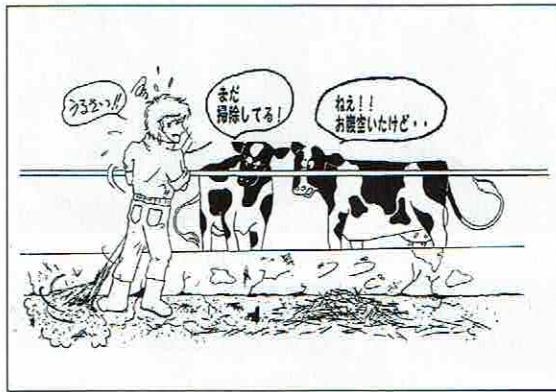
粗飼料品質が不利だからこそ、「牛をその気にさせる」給与技術について今一度見直し、飼養環境、タイミングなどから採食量アップを考えて見ましよう。

【現場の作業をチェック】  
・牛が飼槽に向かっていないのに食べ

るものが何もない時間帯はないか？

飼養形態を問わず、牛が飼槽に向かう時には新鮮なエサがあることが理想です。フリーストールでは、パラーから牛が戻るまでに、残飼の処理、飼槽掃除、給与作業が完了することを徹底しましょう。

分離給与でも同様ですが、給与直前の飼槽掃除で、食べることを待たせてしまっている作業体系も見られます。分離給与の場合、給与後に採食行動が一段落する頃、飼槽掃除するのが望ましいと言えます。



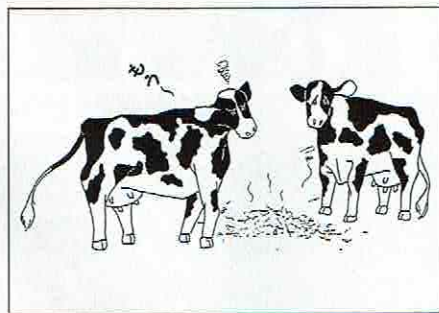
食べる時間そのものが少ないから食べられない

・TMR給与での一手間プラス

常に新鮮なものを与え、作り置きを避けましよう。さらに、ミキシングが飼槽を数回往復しながら少しずつ出すなど、均等な混合状態で飼槽へ吐き出しする工夫も寄り食いを避け、1日のエサ寄せ作業を効率よく行えるなど飼槽管理上も有効です。

・分離給与での一手間プラス

通常、繋ぎ飼いで搾乳中の飼料給与はできません。搾乳前に新鮮な粗飼料を給与してから作業開始したいものです。とくに朝は食欲旺盛です。一手間増えますが、朝の搾乳前の牧草給与は有効です。

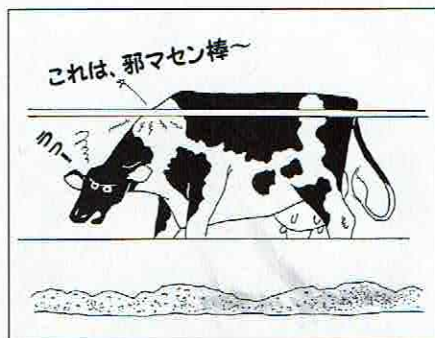


新鮮なら少しは美味しいのに

【牛の生活環境をチェック】

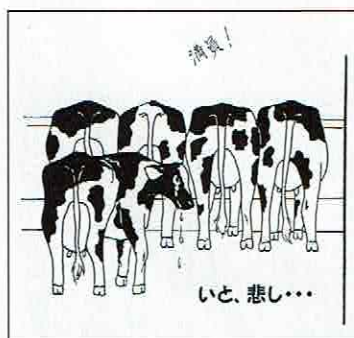
飼料品質が思わしくない時ほど環境の不備が採食量減少に拍車をかけます。最も影響が考えられるのは、採食の場である飼槽の状態でしょう。

マセン棒の高さや飼槽スペース、表面材のコーティングなど施設的问题があるとしたら、即刻、改善すべきです。



ストレスがなければもつと食べるかも

また、密飼い状態では、「低栄養で、しかもたくさん食べられないエサ」で、「負け牛」のイメージがさらに大きくなります。農場内にスペースを確保できるなら、1頭当たりスペースを十分確保できるようにグループピングを見直ましよう。



入れないから食べられない

# 青年部第2回学習会

J A 忠類青年部（部長黒坂宏哉）は十月二十五日（火）に日本全薬工業株式会社帯広営業所の横山翔氏を講師としてお招きし、「ミネラル・DD・アメリカ力研修報告」について実施しました。DDとは趾皮膚炎、イボ状趾皮膚炎、趾乳頭腫症などを統一した呼称。

主な発症原因としてはトレポネーマと呼ばれる細菌が感染源となっており症状が治まった牛でもストレス環境下に置かれた



「ミネラル・DD」について説明いただきました

場合再発することもあります。予防としてはDDは伝染性であるため早期に発見し牛群に広まるのを最小限に食い止める事が重要であり、フリーストールの場合は繋ぎ牛舎に比べて伝播が早いので、注意が必要です。学習会終了後は、このみ食堂に場所を移し、懇親会を行いました。

懇親会の場でもDDやミネラル、牛に関わる事について話しあい、とても充実した学習会となりました。

# 幕別町農村ホームステイ実施される

幕別町で平成二十四年度から北海道外の都市圏の高校を対象とした幕別町農村ホームステイが今年度も実施された。農村ホームステイを通じて、農村地域での生活や農業者や地域の交流、食や農の大切さを学ぶことができる農業体験型修学旅行となっています。今年度の第三校目の農村ホームステイとして十月十二日、十三日の日程で、大阪府立阪南高等学校の生徒三十七名を幕別町内の十五農家で受入を実施。十二日には幕別町集団研修施設こまはたで入村式が行われ、生徒を代表して二名が挨拶をし、各農家に移動をして農業体験を始めました。忠類地区では六戸の農家で十三名の受入をしました。

実際に酪農体験をした学生は、間近で見た牛の大きさに驚きながらも牛の餌やりや、搾乳体験もしたりと、緊張しながらも楽しんで見ることができました。

十三日には退村式が行われ、農村ホームステイを無事終了することができました。



大阪府立阪南高等学校の生徒代表挨拶



高野牧場にて牛の餌やり・搾乳体験!!

発行 忠類農業協同組合 営農部経営課 〒089-1792 中川郡幕別町忠類栄町二五九番地 電話 (01558) 813311

# 農作業事故の実態 (最新版)

全国の農業や建設業では、年間約350件の死亡事故がそれぞれ発生しております。

各産業別就業人口ベースでは、農業が建設業の2倍以上の比率で死亡事故が発生している現状です。(右表の産業別10万人あたり死亡事故件数)

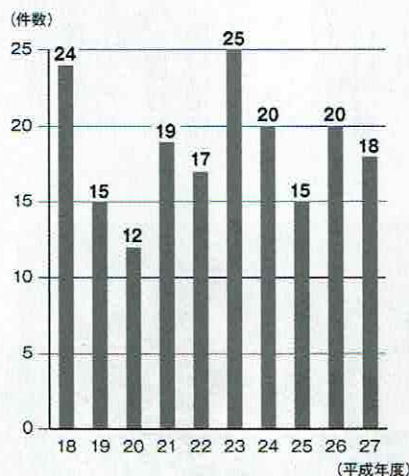
北海道の農作業事故発生状況(H18~H27)をみると、負傷は、2,474件/年、死亡は18.5件/年で、推移しています。

平成27年度の負傷事故は、前年よりも60件減少し、死亡事故は前年よりも2件減少しています。

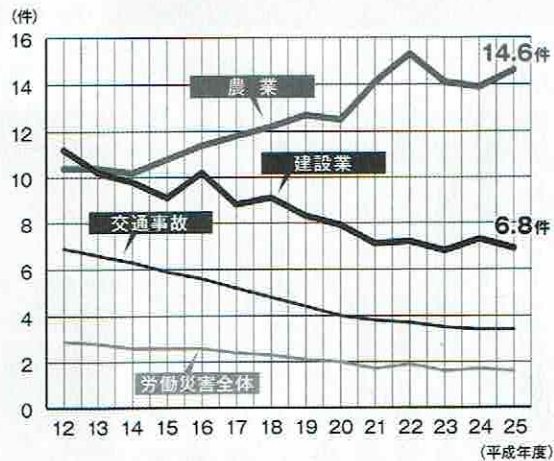
一方、負傷事故では、家畜関係での事故が年間800件台もの事故数が気になるところで、農業機械事故:650件台、人の転倒事故:350件台に比べて、かなり多い数値を出しています。



## ◎北海道における農作業・死亡事故の推移 (H18~H27年)



## ◎全国10万人あたり死亡事故件数 (H12~H25年)



※死亡事故件数については、農業は農林水産省、交通事故は警察庁、労働災害および建設業は厚生労働省調べ。総人口、就業者数は総務省統計局調べ。

## ◎北海道における農作業・負傷事故の推移 (H18~H27年)

